

ロボテスフェスタ2025 展示ブース&実演ブース 出展事業者募集要項

ロボテスフェスタ2025 開催概要

名称	ロボテスフェスタ2025
会期	2025年9月27日（土）11:00～19:00 出展者搬入日：9月26日(金)午後 撤収：27日(土)終了後または28日(日)
会場	福島ロボットテストフィールド(福島県南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番)
共催	公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構、南相馬市
入場料	無料
来場対象	ロボットの関連産業事業者・学生・一般来場者 等
運営	ロボテスフェスタ2025 運営事務局
申込先	TEL：024-525-4062（受付時間10:00～17:00土日祝日除く） robotes-festa2025@intales.jp

出展ブース案内

1 ロボット・ドローン事業者 展示ブース出展

日時：2025年9月27日（土）11:00～17:00（※出展場所により延長となる場合がございます。）

場所：RTF屋内試験場、降雨試験室、カンファレンスホールのいずれか

ブース仕様：間口3m×奥行3m=9㎡

※大型展示物または屋外での展示をご希望の場合は別途ご相談ください。内容次第でご希望に添えない場合もございます。

※屋内試験場では、18：30にドローンショーの開催を予定しております。可能な範囲で撤収作業を行っていただきます。

2 ロボット・ドローン事業者 実演ブース出展

日時：2025年9月27日（土）11:00～18:00の内、15分程度×6回の実演。

場所：福島ロボットテストフィールド内、各フィールド

仕様：バスツアーでフィールドを周回実演を来場者にご覧いただく。

各回、2台の中型バス運行(定員27人)

※フィールド内の実演はバスツアー利用者のみ、ご覧いただく想定です。

(来場者の自由見学は想定していません。)

適用	実施時間	コース名	乗車人数	延べ参加人数
午後 1回目	12:30-14:00	ロテフィーコース	中型バス1台 27名想定	最大162名想定
		ミナボくんコース	中型バス1台 27名想定	
午後 2回目	14:30-16:00	ロテフィーコース	中型バス1台 27名想定	
		ミナボくんコース	中型バス1台 27名想定	
夕方	16:30-18:00	ロテフィーコース	中型バス1台 27名想定	
		ミナボくんコース	中型バス1台 27名想定	

申込方法

「ロボテスフェスタ2025」出展申込書に、ご希望の（展示ブース or 実演ブース）内容等をご記入の上、メール添付にて事務局までお送り下さい。

事務局にて主催者と協議・調整の上、ご出展可否のお返事をさせていただきます。

※予定小間数に達した場合は、締切前でも受付を終了させていただきます。なお、予定小間数に達しない場合は、受付を延長する場合もございます。

【募集内容】

①展示ブース出展（開発基盤エリア 研究棟内 屋内試験場） **※30社程度を想定**

②実演ブース出展（無人航空機エリア、インフラ点検・災害対応エリア、水中・水上ロボットエリア）

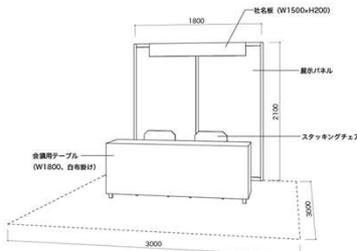
※6社程度を想定

※1つの実演は15分程度を想定しております。応募者数により、時間は変動の可能性がございます。

①展示ブース出展

■基礎備品

- ・展示パネル(W900×H2,100mm)×2枚
- ・社名表記(W1500×H200mm)×1枚
- ・会議用テーブル(W1,800mm)×1本
白布掛
- ・椅子×2脚



■オプション設定

- ・AC(コンセント)

※小間仕様につきましては変更となる可能性がございます。

②実演ブース出展

■基礎備品

- ・会議用テーブル(W1,800mm)×2~4本
- ・椅子×2~4脚

※その他実施場所により適宜ご相談協議とさせていただきます。



出展料金：**無料**

※出展料金以外の出展に伴うその他経費、（交通費、宿泊費、展示品の搬送費等）については、全てご出展者負担となります

出展申込期限

2025年

8月5日（火）

17:00 締切

〈備考〉

- ・複数施設での実演も可能です
- ・実演はバスツアー形式で開催されるため、必ず立ち寄る時間を設けております。
- ・実演のご参加にあたりましては、出展確定後、フィールドの使用計画書のご作成をお願いいたします。
- ・出展申込の内容・業種により、運営事務局にて小間配置を決定いたします。

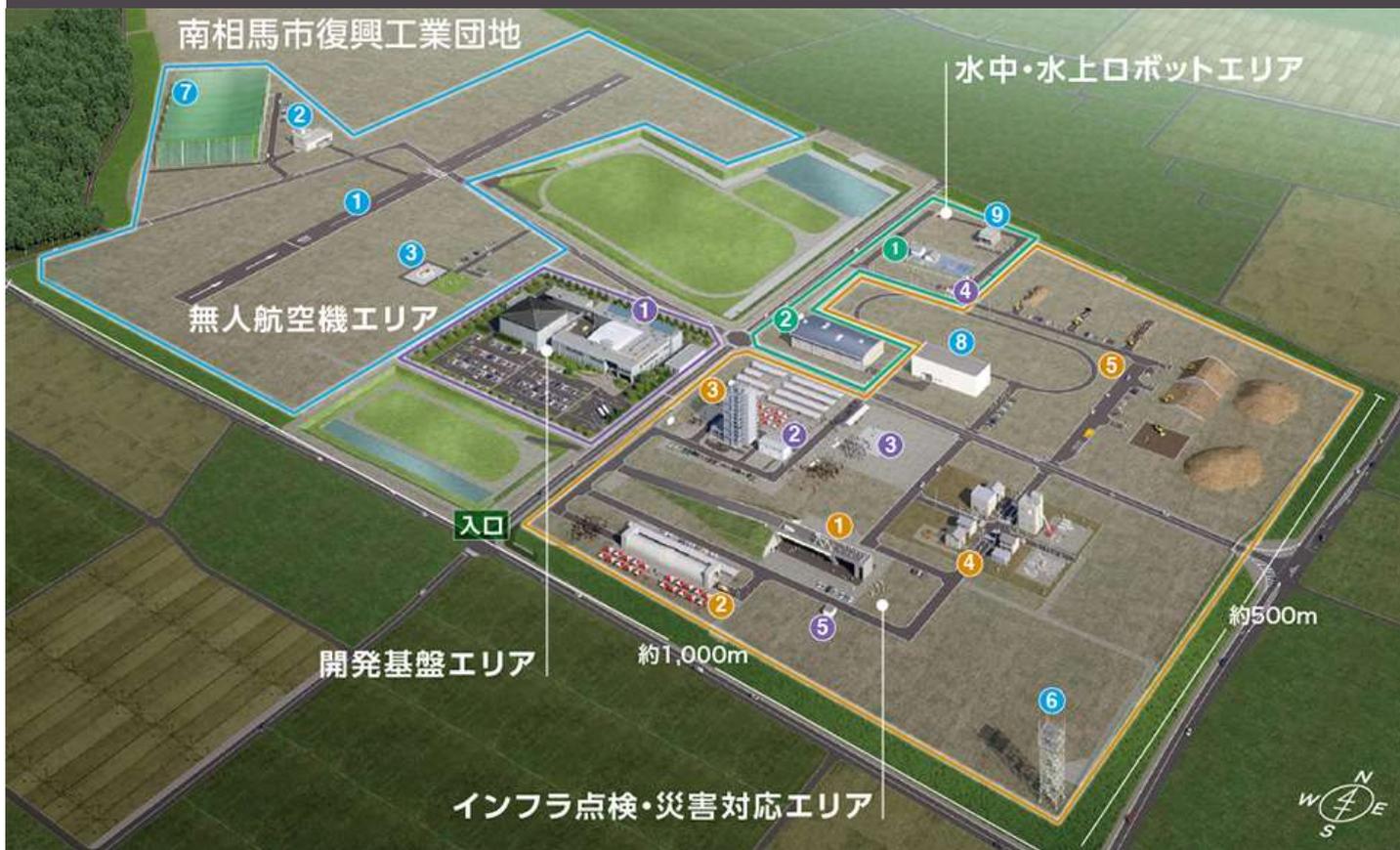
※屋外実施エリアでは、当日の天候状況により実演が行えない場合がございます。

※ご希望のご出展者数と実演時間により、すべてのご希望に沿えない場合もございますので、予めご了承ください。

福島ロボットテスト展示ブース募集施設

施設全体概要

※RTF 公式WEBサイトより



開発基盤エリア (研究棟内 屋内試験場、降雨試験室、カンファレンスホール)

30社程度



〈開発基盤エリア利用概要〉※屋内



福島ロボットテストフィールドの本館としての機能を持ち、各試験の準備、加工・計測に加えて、ロボットの性能評価のための風、雨、防水、防塵、霧、水圧、温湿度、振動、電波に対する試験を行うことができます。また、研究者の短期～長期の活動拠点としての利用、事務所の開設、大規模会議室・展示場の開催も可能です。さらに、棟内に併設する福島県ハイテクプラザ南相馬技術支援センターにより、設備の利用支援やロボット技術等の技術相談、開発支援等を行います。

■施設及び各エリアについての詳しい説明は、福島ロボットテストフィールドのWEBサイトよりご覧頂けます

福島ロボットテストフィールド公式WEBサイト <https://www.fipo.or.jp/robot/>

福島ロボットテストフィールド実演募集対象施設

無人航空機エリア（緩衝ネット付飛行場）

（実演ブース）2社程度

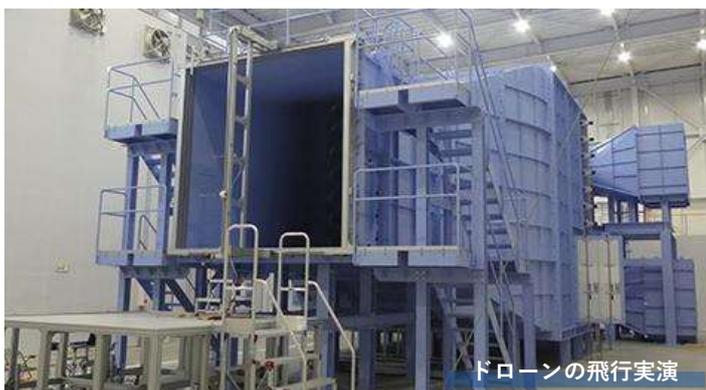
無人航空機向けとしては国内最大となる飛行空域、滑走路、緩衝ネット付飛行場において、基本的な飛行から衝突回避、不時着、落下、長距離飛行など多様な試験ができる環境を提供し、無人航空機の実用化を推進します。

■緩衝ネット付飛行場



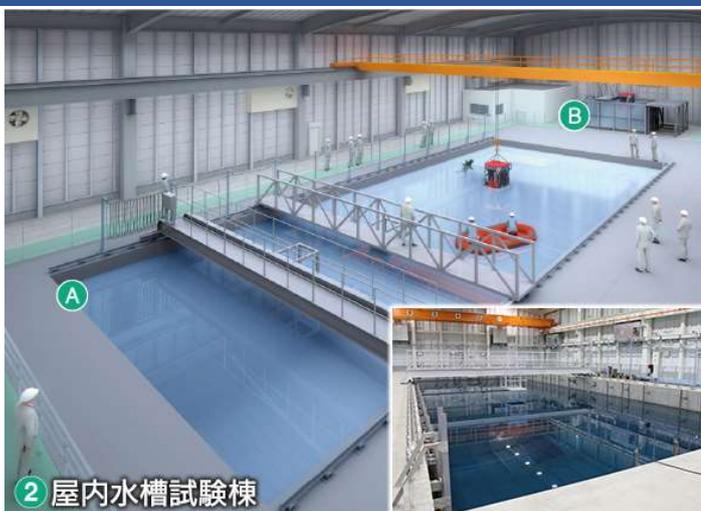
上面・周囲をネットで覆った航空法適用外の飛行場です。風雨・日照のある野外環境下で、無人航空機の基本的な飛行性能や自律制御等の評価試験、操縦訓練を行うことができるほか、夜間飛行、物件投下などを法律上の事前申請なしで実施可能です。

■風洞棟



無人航空機の空力特性、飛行性能、積載性能、突風・脈動風への機体の安定性を試験できます。

水中・水上ロボットエリア(屋内水槽試験棟、水没市街地フィールド) （実演ブース）1社程度



ダム・河川・港湾等を再現し、水中・水上ロボットによる点検・調査に関する試験や操縦訓練を行う施設です。
大水槽：12m×30m×7m
小水槽：5m×3m×1.7m

水害で冠水した市街地を再現し、水上・水中ロボットや無人航空機による情報収集、搜索・救助訓練ができます。点検対象や障害物を沈めた試験、有人ヘリやボートによる救助訓練にも使用できます。

福島ロボットテストフィールド実演募集対象施設

インフラ点検・災害対応エリア（下記4施設）

（実演ブース）3社程度

ロボットによるインフラ点検と災害対応の実証試験のために整備される国内唯一の試験場です。トンネル、橋梁、プラント、市街地、道路等の構造物の中で、想定されるほぼ全ての災害環境、老朽化状況を再現できます。

■試験用プラント



平時・災害時のプラントを再現し、点検、情報収集、機器操作に関する試験や操縦訓練を行う施設です。様々な形状の配管、バルブ、ダクト、階段、螺旋階段、キャットウォーク、垂直梯子、タンク、煙突などを設置しています。計器・指示器の変動、煙・気体の充満、熱源や瓦礫の配置などにより異常環境を再現することができます。

■試験用トンネル



トンネル中での交通事故、崩落、老朽化を再現し、状況確認、捜索、瓦礫除去、老朽化点検に関する試験や操縦訓練を行う施設です。高速道路や一般道の照明（LED灯、ナトリウム灯）、ジェットファンなどを設置し、壁面には点検対象となるひび割れやうきを再現しています。内部に車両、瓦礫、岩石、土砂など障害物を自由に配置・固定できるほか、両側シャッターを閉鎖して長大トンネル中央部を再現できます。

■試験用橋梁



鋼・コンクリート製の4種類の形状の橋梁で、老朽化や障害物を再現し、状況確認や点検に関する試験や操縦訓練を行う施設です。点検対象となるコンクリートのひび割れ・剥離・うき、鋼材のボルト緩み・亀裂や、点検時に障害となる照明柱や防護柵を再現しており、トラス、ケーブル管等も設置できます。

■市街地フィールド



住宅、ビル、信号・標識付の交差点を配置して市街地を再現しています。建物の内外に車両や瓦礫、点検対象物など設置し、情報収集・調査、障害物除去、人員の捜索・救助、点検に関する試験や操縦訓練ができます。コンクリートや木材の瓦礫を使った走行試験、建物の壁・床のブリーチング訓練、道路部分を使った自動走行の試験にも活用可能です。

■瓦礫・土砂崩落フィールド



災害時の道路遮断現場、土砂崩落現場を再現し、無人化施工重機やロボットによる状況確認、捜索・救助、復旧作業に関する試験や操縦訓練を行う施設です。道路上に自由に設置できる各種障害物のほか、15度・30度に再現性のある土砂傾斜、軟弱さを調整可能な泥濘地、走行耐久試験用の周回路を備えています。